

第7回理事会議事録
(第59回)

財団法人 神奈川県スキー連盟

1. 日 時 平成14年5月9日(木) 19:00～20:45
2. 場 所 神奈川県社会福祉会館 4階 第4研修室
3. 出席理事 会長：河野 洋平、副会長：廣瀬 稔、古郡 敬一、小林 幹夫、
専務理事：山田 隆、常務理事：片 忠夫、三塚 康雄、菊地 富士夫、
越前谷 芳隆
理 事：早川 博基、野地 澄雄、平沢 幸一、上田 英之、本田 衛義、
柴田 秀一、内海 雄三、百海 廷、渡辺 三郎、山本 英雄、
菊地 勇二、木村 徳善、工藤 政蔵、栗田 謙悟、本宮 敏宏
(現理事数 24名)
うち委任：河野 洋平、内海 雄三、百海 廷、山本 英雄(4名)
出席監事 井駒 利一
出席参与 なし
4. 議長選出 山田専務理事を指名
5. 議事録署名人選出 野地理事、早川理事を選出
6. 書 記 中里健二広報委員を指名
7. 議 事
 - 1) 小林副会長あいさつ
小林副会長のあいさつに続き、菊地勇二理事からケガの快気について報告があった。
 - 2) 教育本部関係
 - (1) 報告事項 なし
 - (2) 審議事項 なし
 - 3) 競技本部関係
 - (1) 報告事項
アルペンジュニア春期総合合宿について
雪不足のため中止となったことが報告された。
第3回クラブ対抗駅伝大会について
今年で第3回目となるこの大会が、5月19日(日)相模原市の大島キャンプ場にて開催されることが報告された。
 - (2) 審議事項
神奈川県マスターズ選手権大会第2戦の承認について
山田専務理事から神奈川県マスターズ選手権大会第2戦を新規事業として予算は0で項目だけ載せて開催したいとの提案があった。提案の主旨として、競技登録者以外の潜在的な競技層を開拓するため、それに対応したオープン大会を開催することが必要であるとし、生駒監事から市協やクラブの大会や行事との重複により、参加者が集まらないのではとの意見もあったが、行事予定の早期のアナウンスに努めるとの回答があり、承認された。
 - 4) 総務本部関係
 - (1) 報告事項
慶弔関係について
理事への慶弔支出の報告があり了承された。
資金運用状況について
上田理事から、今年度も昨年並の運用状況であることの報告があり、了承された。
登録関係について
柴田理事から、追加登録の報告があり了承された。また、各部へ今年度の各種資格合格者のリスト(協会、クラブ名を入れたもの)を提出するよう依頼があった。
広報委員会について
SAKだより43号が発刊されたことが報告された。

北海道プロジェクト反省会

反省会を実施し、来季もジャンボ機 1 機分の参加者を集めることを目標とすることが報告された。

(2) 審議事項

評議員の交替について

片常務理事から藤沢市スキー協会の評議員の交代について提案があり承認された。

(前任) 東海林 延友 → (新任) 大塚 一

新役員について

片常務理事から別紙案により評議員会に新役員の提案を行いたい旨提案があり、承認された。

平成 1 4 年度 (S A J 1 5 年度) 執行方針及び事業計画について

山田専務理事から、S A K の行事はここ 2 5 年から 3 0 年間にわたりほぼ変わっておらず、時代の変化が激しい今日、これら大会の形式や運営のやり方を見直し、新しいタイプの行事や大会を行っていくことが、現在の会員数を維持するためには必要であり、そうした組織運営に協力してほしい旨の話があった。片常務理事から基本方針 (案) 、各部執行方針 (案) および各部事業計画 (案) について説明があり、承認された。

平成 1 4 年度予算案について

上田理事から、別紙案により各事業項目毎について全体予算への占有率と前年度予算との対比を見ながら説明があった。また、来年度ホームページで予算決算を公開していきたいとの提案があった。山田専務理事からこの予算案では赤字となってしまうことから、各行事の予算を一律削減する方法で検討したいとの提案があり、平沢理事から、一律では問題となる部分があるとの意見があったが、それでは予算を全くいじれないとの山田専務理事からの意見があり、全体枠に収まるように修正することで承認された。また、野地理事から各種補助金について確定したものかの質問があり、県総合体育大会については決まっているが、国体は未確定であるとの回答であった。

備品購入計画について

各部から必要な物として、トランシーバー 6 台、ゼッケン、ポンチョ、パソコン 2 台、バナーがあげられ承認された。

6) その他

(1) S A J 評議員会について

山田専務理事から、6 月 2 9 日に S A J の評議員会があることから、意見があれば取り上げたいとの事であったが特に意見はなかった。従来から指摘のある会員証の発行の遅れについては南関東ブロック会議にても取り上げたいとのことであった。

(2) スノーボード部について

菊地競技本部長から、スノーボード部の今後の活動について不安があるとの意見があった。山田専務理事から、競技本部と教育本部がスノーボード部の行事運営をサポートしていくことに変わりはないので、協力してもらいたいとの話があった。

(3) 監事から

井駒監事から、備品購入費の今年度予算はすでに越えているのにさらに備品を購入してしまうというのはいかなものかとの意見があったが、山田専務理事から必要なものを購入するためのことであり、来期以降備品購入費の予算を拡大する必要があるれば行っていきたいとの回答であった。広瀬副会長からは、予算の精度を上げることは必要なことであり、今後もそのようにしていきたいとの意見があった。片常務理事から今年度予算はまだ締めておらず、その中で必要な備品購入をすることは、評議員会で十分説明を行えば承認が得られることではないかとの意見があり、結論としては承認された。また、そのほかに北海道行事で高齢の参加者に朝里川スキー場はきついと思うので、別行動も可としてはどうかとの提案があり来季検討していくことで了解を得た。

以上、この議事録が正確であることを証明するため、議事録署名人、下記に署名する。

平成 1 4 年 月 日

議 長

議事録署名人 印

議事録署名人 印